



Buddycom コンソール
ユーザーガイド v1.0.1
トーク履歴編



改訂履歴

日付	バージョン	内容
2019/10/01	1.0.0	製品名称変更
2022/12/13	1.0.1	履歴非表示設定 追加

目次

1. 概要	3
2. トーク履歴の検索	3
2.1 個別通話の履歴の検索	3
2.2 グループ通話の履歴の検索	4
2.3 言語の設定（テキスト化された履歴の表示）	4
3. トーク履歴の再生	6
4. トーク履歴のダウンロード	7
5. トーク履歴の非表示	8
5.1 トーク履歴の非表示設定	8
5.2 トーク履歴非表示の注意点	9

1. 概要

「トーク」画面では、下記の操作を行います。

- ✓ 検索
通話履歴の検索をします。
- ✓ 再生
通話履歴を再生します。
- ✓ ダウンロード
通話履歴のダウンロードをします。

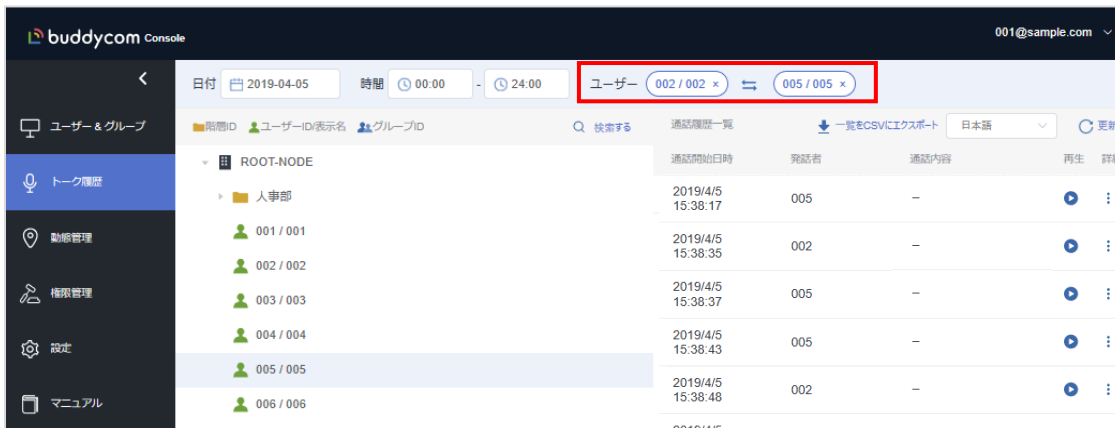


2. トーク履歴の検索

Buddycom アプリケーションにて行ったトーク履歴の検索をします。

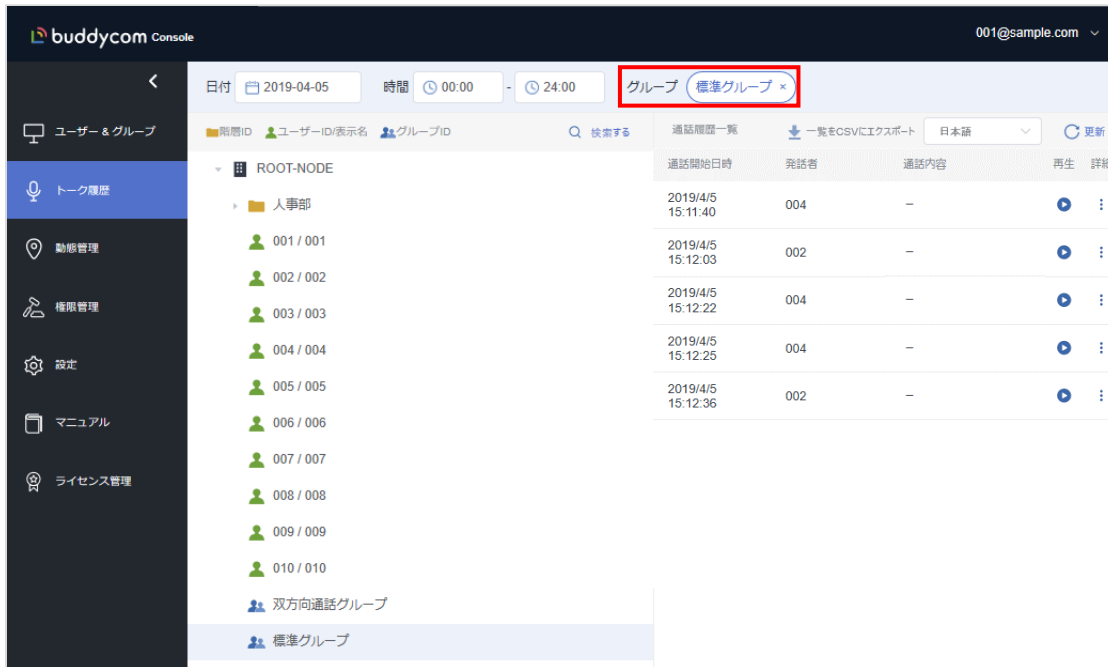
2.1 個別通話の履歴の検索

日付と日時を指定し、検索したい個別通話の対象のユーザーを一覧から二つ選択します。



2.2 グループ通話の履歴の検索

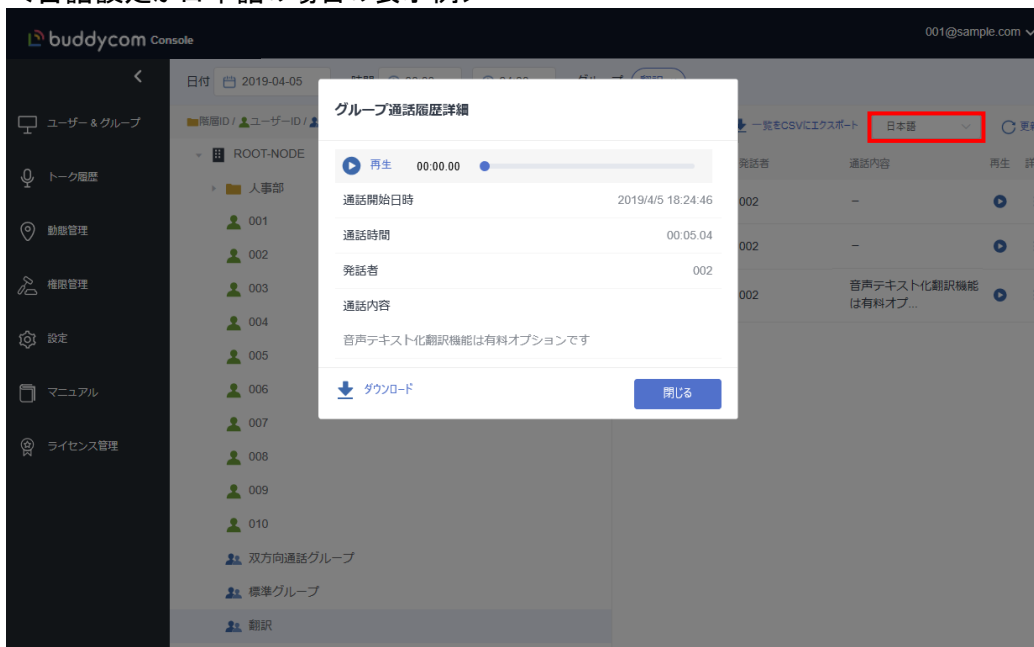
日付と日時を指定し、検索したいグループを一覧から選択します。



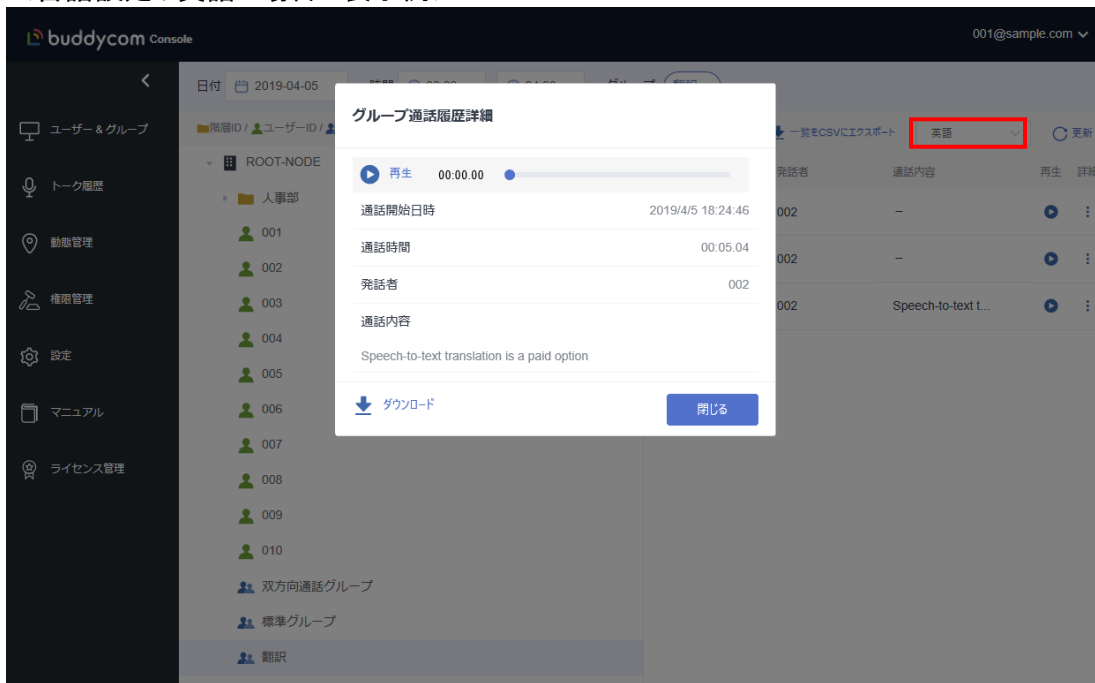
2.3 言語の設定 (テキスト化された履歴の表示)

音声テキスト化・翻訳機能を利用している場合に、通話内容として表示されるテキストの言語を設定します。
※音声テキスト化・翻訳機能は TakeEnterprise と LivecastEnterprise のプランでご利用可能です。
※通話時に設定していた言語を選択できます。通話終了後に別の言語に翻訳することはできません。

＜言語設定が日本語の場合の表示例＞



<言語設定が英語の場合の表示例>



3. トーク履歴の再生

検索した履歴の再生ボタン「▶」をクリックすると履歴が再生されます。

The screenshot shows the Buddycom Console interface. On the left is a navigation menu with options like 'ユーザー & グループ', 'トーク履歴', '動態管理', '権限管理', '設定', 'マニュアル', and 'ライセンス管理'. The main area displays a list of call logs for the date 2019-04-05. The table has columns for '通話開始日時', '発話者', '通話内容', '再生', and '詳細'. The third row, with a start time of 15:12:22 and caller 004, has its '再生' button highlighted with a red box.

通話開始日時	発話者	通話内容	再生	詳細
2019/4/5 15:11:40	004	-	▶	⋮
2019/4/5 15:12:03	002	-	▶	⋮
2019/4/5 15:12:22	004	-	▶	⋮
2019/4/5 15:12:25	004	-	▶	⋮
2019/4/5 15:12:36	002	-	▶	⋮

詳細「⋮」をクリックすると、通話履歴詳細画面が表示されます。

「再生」ボタンをクリックすると、履歴が再生されます。

The image shows two side-by-side screenshots of the call log detail view. The left screenshot is titled 'グループ通話履歴詳細' and shows a '再生' button with a play icon highlighted in a red box. Below it are fields for '通話開始日時' (2019/4/5 15:11:40), '通話時間' (00:08.88), and '発話者' (004). The right screenshot is titled '個別通話履歴詳細' and also shows a '再生' button highlighted in a red box. Its fields include '通話開始日時' (2019/4/5 15:38:17), '通話時間' (00:08.22), and '発話者' (005). Both screens have a 'ダウンロード' button and a '閉じる' button at the bottom.

4. トーク履歴のダウンロード

通話履歴詳細画面の「ダウンロード」をクリックし、保存先フォルダを指定するとトーク履歴がダウンロードできます。

グループ通話履歴詳細

再生 00:00.00

通話開始日時 2019/4/5 15:11:40

通話時間 00:08.88

発話者 004

通話内容
テキスト化データはありません。

↓ ダウンロード 閉じる

個別通話履歴詳細

再生 00:00.00

通話開始日時 2019/4/5 15:38:17

通話時間 00:08.22

発話者 005

通話内容
テキスト化データはありません。

↓ ダウンロード 閉じる

「一覧をCSVにエクスポート」から、通話履歴の一覧と、テキスト化された通話音声ダウンロードできます。

buddycom Console 001@sample.com

日付 2019-04-05 時間 00:00 - 24:00 グループ 標準グループ

ユーザー & グループ トーク履歴 動態管理 権限管理 設定 マニュアル ライセンス管理

ROOT-NODE

- 人事部
- 001 / 001
- 002 / 002
- 003 / 003
- 004 / 004
- 005 / 005
- 006 / 006
- 007 / 007
- 008 / 008
- 009 / 009
- 010 / 010
- 双方向通話グループ
- 標準グループ

通話開始日時	発話者	通話内容	再生	詳細
2019/10/2 18:14:00	001	テストテストテスト	▶	⋮
2019/10/2 19:20:35	002	音声テキスト化されず	▶	⋮
2019/10/2 19:20:45	001	-	▶	⋮
2019/10/2 19:20:47	001	-	▶	⋮

↓ 一覧をCSVにエクスポート 日本語 更新

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	#音声テキスト化オプションが有効な場合に、通話内容が格納されます。テキスト化されたデータがない場合は、N/Aが格納されます。													
2	通話開始日時	通話時間	発話者	通話内容										
3	2019/10/02 18:14	3.34	001	テストテストテスト										
4	2019/10/02 19:20	4.28	002	音声テキスト化されず										
5	2019/10/02 19:20	0.12	001	N/A										
6	2019/10/02 19:20	2.52	001	N/A										
7														
8														
9														

talkRecordList

5. トーク履歴の非表示

5.1 トーク履歴の非表示設定

通話履歴詳細画面の「アプリ上の通話履歴を非表示にする」を有効にすると、すべてのデータ（音声データ、テキストデータ、写真、動画、その他）を非表示にできます。

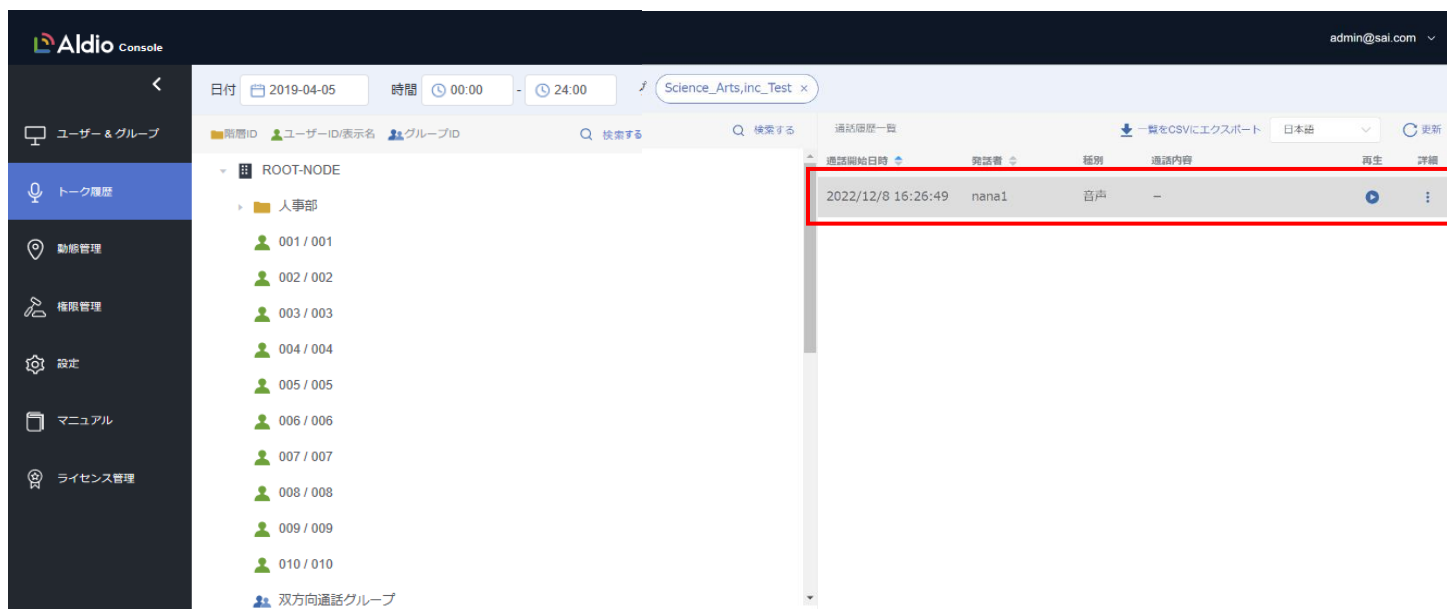


非表示設定を行ったデータは、即時でアプリ側では「非表示データです」と表示され閲覧できなくなります。再度表示をしたい際は、通話履歴詳細画面の「アプリ上の通話履歴を非表示にする」を無効にしてください。



5.2 トーク履歴非表示の注意点

- ・トーク履歴の非表示設定は、設定を行いたいグループの「編集権限」を所持しているユーザーだけ設定できます。（「参照権限」しかないユーザーでは設定できません）
- ・トーク履歴の非表示を設定すると、ユーザーがグループに対して持っている権限によって履歴の表示状態が変わります。
 - 「編集権限」を持っているユーザー：グレースケールで表示されます。
 - 「編集権限」を持っていないユーザー：表示されません。



- ・「編集権限」を持っていないユーザーが「一覧を CSV にエクスポート」を行った場合、出力した CSV には非表示設定をしたデータは含まれません。
- ・アプリでデータの非表示に対応するには、iOS 版アプリバージョン 2.0.45 以降、Android 版アプリバージョン 2.0.51 以降が必要です。これらのバージョン以前のアプリを使用している場合は、以下の通りの動作になります。
 - ① 履歴を非表示にすると、アプリで履歴を再生したときに「音声データがありません」と表示され、データの再生/表示ができません。また、チャットで送信したテキスト、および、音声をテキスト化した内容は、トーク履歴の非表示設定をした後も表示されたままとります。
 - ② アプリを再起動すると、非表示設定をした音声の通話履歴の秒数が「00:00」で表示されます。

—以上—